

NPO法人コンカリーニョ 2013 年度事業報告

1. 事業の成果

本体コンカリーニョ、パトス、あけぼの三館を運営していることを利点とするべく、それぞれの特徴を活かした一体的な運営と役職員およびボランティアスタッフ一丸となった活動の発展を目指しましたが、大きな成果をあげることはできませんでした。また、経営の立て直しを図るために、慎重な事業および資金計画を立案、遂行することを方針とし、劇場通信の休止、職員の人員削減など経費圧縮に努力したものの、結果、多額の赤字決算となりました。

しかしながら、札幌演劇シーズンの定着化とともに、札幌の演劇シーンの一翼を担う劇場としての認知は、確実に高まり、来館者数も増えました。

<2013 年度トピック>

- ・ きらめくパッチワーク事業が順調に推移し、パトスに係る人が増えた。
- ・ 3月24日、仮認定NPO法人取得により、寄附に対する税制優遇措置が受けられるようになる。
- ・ コンカリーニョ・ファンド・プロジェクト (CFP) 立ち上げ

【2013 年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

(公財) 北海道文化財団、(独) 日本芸術文化振興会、札幌市西区まちづくり団体活動助成、札幌市さぼ一とほっと基金

— 3 カ年計画[2013 年度=1 年目/3 カ年]

1. 場所の底力UP コンカリーニョが持つ資源を活かし、たまり場づくり、地域貢献、集客UPを狙う。
⇒きらめくパッチワーク事業
2. 札幌演劇界の底力UP 演劇界の発展に寄与すると共に、劇場の稼働率も上げることを狙う。
⇒若手演劇スタッフの人材育成
⇒レジデントアーティスト
3. 経営の底力UP コンカリーニョが今後も継続していける環境づくりに力を入れる。
⇒認定NPOの取得
⇒公設施設の管理運営事業

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 【 】内の番号は、特定非営利活動に係る事業内容（添付資料最終頁参照）

I. 施設運営事業 【①⑥】

事業費 38,440 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

劇場オープンから8年目、「平日スキマ割プラン」の活用などにより、長年の懸案であった平日の稼働率アップに、わずかながら光が見えてきたように感じる。依然、演劇分野が一番の稼働、売上アップにつながるジャンルではあるが、他ジャンルである格闘技、ダンスなどにおいても毎年継続的に利用する団体も増加傾向にある。反面、バーゲンプライス設定時期であるにもかかわらず稼働率の低迷している4月について、具体的な対策の検討が必要だと考える。

		前年度比
利用率	58.1%	4.1%増
プログラム数	54本	1本減
総利用者数	19,399人	6.6%増
事業費	14,600千円	4.0%増

B) ターミナルプラザことにパトス 【⑥⑭】

前年度に比べ、冬季の稼働は順調に向上したものの、7～10月期の利用の減少が目立つ1年となった。3月期は前年度を11%近く上回り、今までのカフェコンサートやブッキングライブ参加経験者主催の卒業ライブが多数あり、自主企画継続の効果を実感した。パッチワーク事業やイベント参加者からの自主企画イベントも多く見られた1年で、ギャラリーのイベント利用も好調であった。

		前年度比
利用率	47.4%	8.6%減
プログラム数	106本	2本減
総利用者数	20,794名	増減ナシ
事業費	6,481千円	0.2%減

1. 自主企画

[年間ブッキングライブ3回・カフェコンサート9回開催、577名参加]

ブッキングライブは1月と5月、3月にはギャラリーイベントの出演者との意気投合で学生初心者限定の「下手だって良いじゃないか。」ライブを開催した。カフェコンサートは今年度も多世代が参加している。今後のブッキングライブは1、5、9月開催を目指す。

2. 「きらめくパッチワーク事業」

毎月の作戦会議「パッチワーカーズ・サロン」も順調に継続。ゆっくりとではあるが前進している。たまり場を目指した「カフェの日常化」は札幌市の規定により取りやめとなったが、「カフェ付きイベント」として実行中。現在、イベントはオープンステージとの協働が主になっている。今後の課題はスタッフへのお礼還元方法と、どのようなイベントを企画していくかである。

3. 「オープンステージ」を毎月不定期に開催。参加ゼロの回もあるものの、参加者を中心に少しずつ認知度は上がってきている。

4. 2004年のパトス運営開始より、行っていた西区文化フェスタの運営業務が受託できず、会場提供のみ。

C) あけぼのアート&コミュニティセンター 【⑦⑭】

第2期（平成25～28年度）管理運営期間の1年目は、前年度末の諸規定見直しにより、第1期に順調であった長期入居スペースに空室が目立つという、経営的にも打撃を受けざるを得ない1年となった。

		前年度比
利用率(長期) (一般貸室)	74.6%	17.1%減
	42.9%	2.8%増
総利用者数	39,078人	3.2%増
事業費	17,567千円	2.7%減

また、夜間駐車場の管理、グラント整備に伴う近隣よりの音の苦情再燃等、札幌市とも協議しつつ対処すべき問題が数多く起こり、役員会でもあけぼのの運営をめぐる、多くの議論が交わされた。

主な出来事			
7月7日	アニメまんがフェスタ	※報告書添付	54名参加
8月5日	曙地区連合町内会 サマーフェスティバル2013in曙(実行委員会主催)		800名参加
11月下旬～ 12月初旬	全国巡回プロジェクトJCDN「踊りに行くぜ！」ダンスinレジデンス [平成25年度文化庁新進芸術家育成事業]		8名参加(うち 東京より2名)
12～4月	あけぼの文化教室 「男を磨く料理教室」全3回 18名参加 「ハーブティーブレンド講座」全3回 20名参加 「始めてみましょう太極拳講座」全3回 13名参加 [助成：さぼーとほっと基金] ※報告書添付		51名参加
1月24日	「廃校・旧校舎アートフォーラム～舞台制作と廃校～」 [主催：北海道教育大学、共催事業]		62名参加
2月1日 ～9日	地域連携コミュニティ再生講座「引山絵里・梶田みなみ作品展とWS」 [主催：(公財)北海道地域活動振興協会] ※報告書添付		94名参加
通年	○あけぼのファーム活動 2団体、15個人登録 7～11月上旬 畑作業およびミーティング ・7月20日 ピザ釜で野菜ピザを焼く 5名参加 ・8月4日 サマーフェスティバル2013in曙にてピザ出店 4名参加 ・10月6日 アイヌ料理講習会と文化・歴史に触れる会 8名参加 ・10月19日 収穫祭交流会・畑の振り返りの会 25名参加 ・11月2日 野菜ソムリエたちによる秋野菜の勉強会 10名参加 ・11月30日 農家さん訪問・体験・収穫ツアー 4名参加 ・12月22日 餅つき大会・忘年会 30名参加 ○図書ボランティア 11名登録 年間貸出冊数 568冊、総利用者数 592名		

○入居者会議 偶数月第1火曜日定例(6回)

○地域連絡会 2回(11月7日、4月24日)

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧 4回(9月、12月、2月、4月)

Ⅱ. 企画事業【②】

事業費 5,652 千円、総来場者数 11,106 名

7月1日～7日	intro「わたし-THE CASSETTE TAPE GIRLS DIARY-」(レジデント提携)【①⑥】 ※東京公演(19～21日)@王子小劇場もあり	6ステージ 587名来場
7月5日、6日	CONTE ストリート×コンテンポラリー「ゼロ地点」@パトス(共催)【①⑥】	2ステージ 170名来場
7月15日	ハシモトコウ納涼アワー【①⑦】	1ステージ 222名来場
7月23日～7月31日 8月12日～19日	札幌演劇シーズン2013夏 イナダ組「キカヌクスリ」【①】	17ステージ 1,432名来場
8月20日～27日	札幌演劇シーズン2013夏 イレブン・ナイン「エンギデモナイ」【①】	8ステージ 1,011名来場
9月16日	公開句会・東京マッハvol.8「札幌マッハ 北北東に越境せよ」【②】 プロデューサー:本間 恵	1ステージ 190名来場
10月10日～13日	飛ぶ劇場「大砲の家族」(from北九州、共催)【①⑥】 [助成:(公財)北海道文化財団]	2ステージ 189名来場
10月18日、19日	+81「全力失踪」(from東京、道外応援)【①⑥】	3ステージ 221名来場
11月8日～11日	プロデュース公演「茶の間は血まみれ」【①⑥】 作:弦巻啓太(弦巻楽団)、演出:イトウワカナ(intro) プロデューサー:小室明子 [助成:(独)芸術文化振興基金] ※TGR2013企画賞	5ステージ 332名来場
11月17日	中高生×コトニ映画「茜色クラリネット」地域上映会【⑦】 (実行委員会主催)	4回上映 354名来場
11月29日 ～12月2日	y h s「四谷美談」(レジデント提携)【①⑥】 ※TGR2013演出賞	6ステージ 581名来場
12月7日、8日	TGR2012大賞受賞作品再演 弘前劇場「素麺」(from青森、共催)【①】	2ステージ 329名来場
12月12日、13日	岩下徹公演とWS「札幌セッション」(from東京、実行委員会主催) 【①④⑥】 プロデューサー:成田真由美 [助成:(公財)北海道文化財団]	1ステージ 153名来場
12月15日	土曜はコトニ 第4回「夢まちアイディアコンテスト」【⑦】	70名来場
12月28日、29日	CONTE「作品集」「ダンスと科学」@パトス(共催)【①⑥】	4ステージ 219名来場
1月10日	JCDN「踊りに行くぜ!! II」vol.4札幌公演【①⑥】 [平成25年度文化庁新進芸術家育成事業]	1ステージ 168名来場
1月12日	ハシモトコウ新春アワー【①⑦】	1ステージ 264名来場
1月18日～25日 2月2日～10日	札幌演劇シーズン2014冬 intro「言祝ぎ」【①】	17ステージ 761名来場
2月14日～18日	札幌演劇シーズン2014冬 座・れら「不知火の燃ゆ」【①】	6ステージ 631名来場
3月14日～17日	y h s「突然バッドエンド」(レジデント提携)【①⑥】	6ステージ 474名来場

4月4日～6日	第8回生活大骨董市【⑦】	25店舗出店	800名来場
5月3日、4日	ハムプロジェクト全体興業「カラクリヌード」(稽古場支援提携) 【①⑥】		6ステージ 557名来場
5月10日、11日	INDEPENDENT: SPR【①⑥】 プロデューサー: 米澤春花		4ステージ 187名来場
5月16日～19日	イレブンナインプレゼンツ dEBoo #1「12人の怒れる男」 (バーゲン提携)【①⑥】		6ステージ 1,204名来場

主催事業7本、参画実行委員会主催7本、提携共催10本

Ⅲ. 出前派遣事業

事業費 4,823 千円

○技術制作派遣【①②④⑩】

琴似飲食業組合ビール祭り、はこだて民族芸術祭、北海道文化財団舞台芸術情報フェア
北海道舞台塾コーディネーターほか

○講師派遣【③④⑤⑨⑩】

コミュニケーション教育事業(篠路中、清田緑小)
介護サービス輝 デイサービスプログラム

○コーディネート事業【②⑦⑨⑩】

チカチカ☆パフォーマンスポット

Ⅳ. 共通事業【①⑬】

○劇場通信発行と配布(隔月 8,000部*4回) H25年いっぱいまで休止→おらコン通信の隔月会員郵送

○メールニュース、メルマガ発行(月2回 600名*24回)

○内部ミーティング

役員会: 定例奇数月第2月曜日 19:00～ 6回+臨時役員会 5回

カリットミーティング: 定例毎月第4水曜日 19:00～ 12回

企画会議: 偶数月開催 6回

(2)その他の事業 該当なし